

平成28年(2016年)

1月22日

第22号

躍 動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会

〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 3647-4887

江東区体育協会ホームページ：<http://www.kototaikyo.gr.jp/>

体協・総会開かれる 今年度の方針

平成27年度江東区体育協会定期総会・評議員会が6月26日(金)に江東区文化センターにて開催され、今年度の方針を決定しました。

1. 区民スポーツの普及と振興
 - 「江東区スポーツ推進計画」基本理念に基づいた健康づくり活動の実践
「いつでも、どこでも、いつまでも」
スポーツに親しめるスポーツ環境の充実
 - 少年少女スポーツの普及と振興、スポーツ少年団の育成など
 - 「深川七中エリア(ななすぼ)」「東陽・木場地域スポーツクラブ」の活動を支援
 - 区民体育大会、秋季体育祭の事業の充実
 - 「体育の日」の事業の実施と充実 など
2. 各加盟団体の育成と競技力の向上
 - 都民体育大会、墨東五区大会及び各種大会への参加と競技力の向上
 - 各加盟団体の育成並びに助成など
 - スポーツ指導者の育成・指導体制の強化と充実
 - ジュニア育成地域推進事業の推進、ジュニア選手の強化
 - シニアスポーツ振興事業の推進、シニアの健康増進・維持

本協会では、課題解決のため組織的な体制づくりや活動を推し進め、精一杯努力してまいります。

平成27年度江東区体育協会定期総会



夏季大会、秋季大会での 活躍と各団体の活動状況

各連盟・協会におかれましては、昨年の夏の猛暑に負けず夏季大会を乗り切り、スポーツの秋には力いっぱい競技に打ち込まれたことでしょう。多くの団体から素晴らしい成果が届いています。

前回の躍動で紹介できなかった各連盟、協会に夏季大会、秋季大会での活躍、日頃の活動状況を寄せていただきました。

今年度体育協会に新加入されたエアロビック連盟から活動状況が寄せられました。今後ともご声援ください。

エアロビック連盟 「スローエアロビック」でみんないきいき

会長 今村 晶子

昨年6月に体育協会に加盟いたしました。

今年度の活動は都連盟と共催で、4月のジュニア選手権大会、6月のジャパンカップ都代表選出大会を開催しました。競技として選手の育成に力を入れていきます。

10月11日には有明スポーツセンターにおいて区民の方を対象とした「スローエアロビック」の講習会を開催しました。この会には40歳代から80歳代まで延べ120名の参加がありました。生涯スポーツとしてのエアロビックはロコモティブシンドロームの予防として運動機能を高め、健康寿命を伸ばすために大変有効です。

区民の皆様の健康に少しでも貢献できるよう活動を進めてまいります。

12月にはスポーツ会館で「ベイサイドコンテスト」を開催し、一般の方の演技発表やコンテスト等盛りだくさんの大会となりました。今後ともよろしくお願いいたします。



武術太極拳連盟

事務局長 本田 弘子

当連盟では、いろいろな種目の太極拳を学び、太極拳を通し会員相互の親睦を図り日々健康で生き生きと心豊かに過ごすことができるように活動しています。東京都及び全日本の競技大会、交流大会にも参加しています。江東区主催、当連盟主管による区民体育大会武術太極拳競技大会は、江東区連盟審判長の努力と神奈川・千葉の審判員の協力をいただき、また連盟の年を重ねた人達まで一人一人の協力の上に成り立ち発表の場が与えられています。未加盟団体は積極的に加盟し、場を与えられる側から与える側になり太極拳の輪が広がることを願っております。



バスケットボール連盟

副理事長 川村 明彦

江東区バスケットボール連盟では小学生からシニア世代まで全ての年齢層で大会を運営しています。多くの方が様々な環境でバスケットを楽しむこと

ができることを役員一同目指しています。現在はミニバスケットボールの普及・強化に力を入れていて、毎年ジュニア育成事業で著名な選手や指導者に来ていただいています。そのおかげで12月に行われる各区の選抜が参加する大会で毎年優秀な成績を収めることができるようになりました。



合気道連盟 本当の合気道を求めて

会長 小林 正明

江東区合気道連盟は、昭和55年7月に江東区の合気道の普及発展と社会体育の向上を目指して発足しました。現在加盟5団体で区内において活動しております。

主として連盟として使用している施設は深川スポーツセンターと江東区スポーツ会館の2カ所です。

合気道の最も大きな特色は、武道でありながら試合がないことであり、無理せず素直に合理的な動きができるように技を反復しながら稽古することです。

従って、子供から高齢者まで幅の広い年齢層や性別に関係なく愛好者が増えつつあることも誰でも合気道ができるということを裏付けております。

当連盟は、合気道の技の探求として相手との間、力を抜き・方向・強弱を重視して質の高い稽古をしております。

年間の行事としては、5月・10月の合気道教室、6月の講習会、9月合宿、10月に演武大会を実施し、その他多くの交流団体の講習会・演武大会に参加しております。



なぎなた連盟 国体少年少女試合 3位入賞

理事長 谷本 良子

平成27年9月27日から29日に和歌山県九度山町文化センターにおいて国民体育大会なぎなた競技が開催されました。東京都代表として江東区なぎなた連盟所属東京都立城東高等学校2年金野夏月、田中里彩が出場し、少年女子試合競技において3位に入賞いたしました。

2人は4歳になぎなたを始めて以来東京都・全国大会等各大会に出場し好成績を収めて参りました。しかし2人は今回の国体には特別な思いがありました。それは先輩方の強化練習を小さい頃から見ていて「私もいつか強化練習に参加し、絶対に国体選手になりたい」と思い続けていたからです。

目標が達成でき、来年に向けて益々精進することと思います。

これも江東区体育協会において少年少女スポーツ教室、地域ジュニア育成等、ご指導ご支援のおかげと心より感謝いたしております。



レクリエーション協会 人気を呼ぶ「区民ファミリーキャンプ」 「深川七福神めぐり」も好評

会長 菅原 光雄

江東区レクリエーション協会は、幼少青年から高齢者まで、各世代にわたるライフスタイルを考えたさまざまなレクリエーション活動を展開しております。

平成27年度の主な活動として、7月24日～26日、江東区立若洲公園キャンプ場で「区民ファミリーキャンプの集い」を開催しました。今回も多くの家族やグループが参加され、2泊3日、野外のテント生活で、楽しい思い出を残されました。

また、8月23日の東大島ふれあいまつり、10月12日の亀リンピック、10月18日の江東区民まつりにそれぞれ参加し、新しいタイプのスポーツとして人気の高い「ウォークラリー」を実施しました。

さらに新春恒例の「深川七福神めぐり」は、平成28年1月3日、深川の七福神と沿道の主な史跡や文化財を訪ね、講師の解説を聞きながら、約3時間の行程をめぐりました。記念手拭い、甘酒、福引き記念品付きで、毎年好評です。



空手道連盟 めざせオリンピック

理事長 石田 賢司

空手が2020年東京五輪の追加種目に大会組織委員会で決まり、今年8月に開かれるIOC総会に提案され、正式決定の公算が大きくなりました。

連盟としてもジュニア育成強化練習などを通じて組手・形の強化に努めております。11月3日に行われた秋季大会には幼年から一般まで269名の参加者がありました。「江東区からオリンピック選手を！」を目標に理事一同指導に努めてまいりたいと思っております。



ゲートボール連盟 「2015紀の国わかやま国体 輝く！ベスト8」

BRAVE 森口 貴教

開会式にて小野清子（日本ゲートボール連合）会長が強調された「国体の公開種目となり初めての栄誉ある大会」第70回国民体育大会ゲートボール競技会は、弘法大師様にゆかりの和歌山県高野町において平成27年9月5日、6日の2日間にわたり開催されました。

昭和63年京都府国体でデモンストレーション競技として参加が認められて以来、ようやく公開競技へと一歩前進しました。

今回の大会は全国10の地域協議会から予選を勝ち抜いた男女各15チームと開催地の和歌山県を併せ、男女とも16チームにより、各コート4チームによるリーグ戦の予選、各コート成績上位2チームの予選突破8チームにより決勝トーナメ

ント戦が行なわれ、熱戦が繰り広げられました。

我が江東区ゲートボール連盟所属のBRAVE（南関東地域協議会所属）は平成26年7月に東京予選会、同9月に南関東地域協議会予選会に優勝し男子代表の座を勝ち取りました。

予選1試合目は熊本県。後半に突き放され痛い黒星。2試合目は強敵兵庫県。見事な采配そして選手も調子があがり快勝。予選最終戦は富山県。相手のミスもあり白星。2勝1敗の成績ですが見事グループ1位で予選を突破。第一目標を達成でき国体ベスト8、まずは責任を果たしほっとしました。

翌6日予定が天気予報から急遽変更となり、決勝トーナメント戦の準決勝戦まで行うこととなりました。決勝トーナメント1回戦は、全国制覇の経験をもつ強豪チーム岩手県。気を引き締めて臨みましたが、後半に入り9対5とリードするも、競技時間終了の合図の中で10点目をとられ惜しくも9対10で逆転負けを喫し、ベスト4に進むことが出来ず、本当に残念でした。

東京から高野山までの道のりは大変長いですが東京予選から国体本戦への道はもっと長くそして厳しい道のりです。またデモンストレーション競技から公開競技そして正式種目へは更に長い道のりです。

最後になりましたが、弘法大師様が高野山を開いて千二百年という記念すべき年に高野詣でと、初めての公開競技の国体参加できたこと、江東区ゲートボール連盟の高村会長はじめ、役員の皆様方の多大なるご支援とご尽力に、あらためて感謝申し上げます。有り難うございました。



水泳連盟

理事長 藤本 悟

今年度の区民大会は8月30日に越中島プールで行われました。雨模様で気温23.8度、水温22.5度という状態で子供たちはブルブルと震えていました。しかし参加人数は午前の小学生の部は400名を超え、中高一般の部も300名を超えて、応援の保護者の数を合わせると1000名を超えていました。新記録も8種目も出て、選手は皆頑張りました。開会式には山崎区長にもお越しいただき、ご挨拶もいただきました。この日参加した多くの選手の中から、一人でも多くのスイマーが今後オリンピックや国体といった大舞台で活躍する選手となることを願ってやみません。

大舞台と言えば、江東区内には東京辰巳国際水泳場という立派な大舞台があり、2020年の東京オリンピックでも水球会場となることが決まっています。辰巳であれば、今回たたられた雨に悩まされることもなく選手たちは実力を存分に発揮できるでしょうし、大会の中心となっているジュニアスイマーにとっても、区民大会は大舞台を経験できる貴重な大会としてより大きな目標となることでしょう。水泳連盟としては今後の辰巳開催を視野に入れ、皆様に喜ばれるよう活動を進めてまいります。



ダンススポーツ連盟

理事長 津野 光昭

9月20日(日)、平成27年度都民生涯スポーツ大会ダンススポーツ大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。午前10時30分から団体戦競技が開始、江東区は故障による一組の欠場のアクシデントに見舞われたものの、残り六組で果敢に健闘、成績は35組中21位でした。

翌週9月27日(日)、第69回区民体育大会ダンススポーツ大会が、江東区文化センターで開催されました。午前10時20分、大勢の家族、観客が見守る中、総勢38名の参加者の熱い戦いが始まりました。区長杯優勝は鈴木徹司・月海の父子カップルでした。



小学校体育連盟

会長 柴野 晃一郎

江東区小学校体育連盟は、45校の小学校の児童と教職員で構成されています。

体育科の授業と「ながなわチャレンジ」など運動遊びを通して、運動好きなこどもの育成と体力向上を目指しています。

また、6年生児童全員参加の水泳記録会と連合運動会を毎年行っています。体育の授業の他に、夏季休業中や放課後の指導を通して、児童の力を伸ばしています。

体力・運動能力を伸ばすよりよい指導をするために、教職員は、実技研修や指導法の研究に日夜取り組んでいます。



連合運動会50mハードル走



連合運動会走り幅跳び

小学校水泳記録会で新記録

27年9月、江東区の小学校6年生全員が参加する水泳記録会が区内18会場で行われました。

種目は自由形、平泳ぎとも25m、50m、100m。他に、100mリレー、200mリレー。今回は、2種目新記録が出ました。

100m平泳ぎ大会新記録で1位 1分19秒0

扇橋小学校 阿部 恋奈

週6回スイミングクラブに通い、毎日2時間くらい練習し、夏休みは学校の水泳教室でも練習してきました。大会新をねらっていましたが、当日は気温・水温が低くて、思うように体が動きませんでした。でも大会新を出せてうれしかったです。目標は、3月に行われるジュニアオリンピックの100m平泳ぎで優勝することです。

【担任より】よく学び、よく遊び、そしてよく食べ、文武両道で頑張っています。今後のさらなる活躍と飛躍に期待し応援しています。



50m自由形新記録 30秒5

南陽小学校 臼井 峻

小学校1年生の時、「水泳では学校で一番になる」と目標を立てました。週3～6日練習してきました。今回は、学校の代表だと思いと気持ちが入りました。一番頑張りたい大会で最高の結果が出て、しかも仲間といっしょに喜べてよかったです。今後、憧れの萩野選手といっしょの大会で競えるようになりたい。

【指導した先生より】体育の授業でも人一倍努力していました。自分に厳しく手を抜かずに取り組む態度がよい手本となり、よく頑張りました。



ライフル射撃協会

理事長 小松原 廣樹

江東区ライフル射撃協会は1960年に設立され、昨年で55周年を迎えました。会員は15名、江東区在住または在勤で競技銃を所持していることが条件です。毎月第一土曜日に、中央区総合スポーツセンターでエアライフルの記録会をしています。見学も可能です。

エアライフルは、10m先の標的を60発撃って点数を競い合います。またハンドライフルは片手で撃つタイプで、これは40発競技です。

射撃は、年齢、性別にあまり関係なくできるスポーツで、ある程度高齢になっても続けることができ、競技時間は1時間半くらいで、気力、体力、

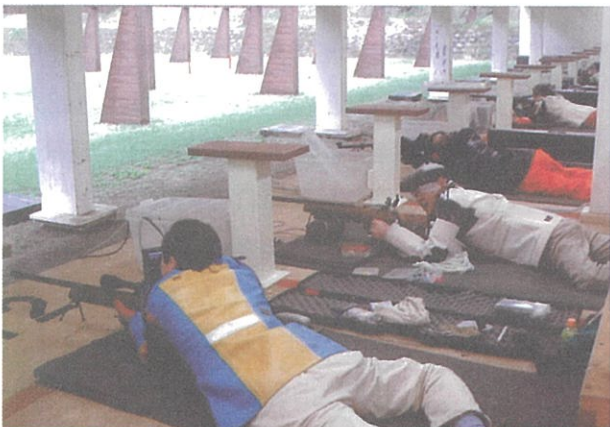
集中力を競います。競技そのものは個人競技なので、自分の点数をいかに上げるかが目標となります。競技を見ている側からは、動きがほとんどないのでおもしろ味がないかもしれませんが、実際にやってみると引き込まれる魅力があります。

使用する銃はもちろん、服装、靴など細かい点まで決められています。

次に競技の内容になりますが、銃所持者のほとんどが持っているスモールボアライフルは、22口径の射撃銃のことで、略してS・Bと言っています。この銃の標的は50mで60発競技です。試射（試し打ち）も含まれると普通100発くらい撃ちます。試合の種目は、撃つ姿勢によって分かれます。伏射（ふくしゃーうつぶせで撃つ）、膝射（けんしゃー立て膝で撃つ）、立射（りっしゃー立って撃つ）となります。ほかにフリーピストルがあります。

最近では高齢者が多くなり、標的を拡大して見るためのスコープを銃につける人も出てきました。また、競技会は春、夏、秋、冬とあり、加えて雨、雪など天候にも対応が必要です。そして1年間に最低2回は大会（都大会、区大会含め）に参加することが義務づけられているので、会員は常に大会をめざして練習をしています。このように、会員数は少ないのですが、活動的な会です。

江東区射撃協会主催の大会は年3回です。今年度は、江東区大会8月16日、体育祭大会10月11日、江東区民大会11月8日、いずれも千葉県営総合射撃場で行っています。東京都主催の競技会は年5、6回長瀬総合射撃場で開かれます。



ビーチボール協会 「いつでも どこでも だれでも」

競技部副部長 許 倫子

区民大会をはじめ、ジュニア大会など年間6大会を開催し普及に努めています。

会社の同僚チームや親子孫3世代チームで大会に参加される方もおり、まさに「だれでも」楽しめる生涯スポーツです。

また江東区ビーチボール協会では、全国大会、関東大会、東京都大会、他地域大会に参加しています。その結果を受けて、より上を目指して日々練習に励んでいます。

平成27年度の成績

<7/9 第9回東京都クリスタル大会>

小学生高学年の部 3位入賞

<10/4 第19回東京都大会>

男子15歳以上の部 優勝

<2016.2/8 関東大会出場権獲得>

男子15・30・60歳以上の部

女子15・40・60歳以上の部

計6チーム



中学校体育連盟

副会長 小林 一志

中体連では、春、夏、秋に各大会が行われ、勝ち進むことで区大会、第6ブロック大会、都大会、関東大会（夏季のみ）、全国大会（夏季のみ）に繋がっていきます。主に学校での放課後等の部活動が練習時間であり、少ない練習時間ではありますが集中して生徒達は取り組んでいます。また、毎年行われる区連合水泳大会、区連合陸上大会は各学校で選抜された代表選手が競い合う大会で例年大変盛り上がります。それでは今年度中体連で各大会の上位で入賞したものをほんの一部ですが紹介したいと思います。

全国大会

全国中学生テニス（硬式）選手権大会

男子シングルス 優勝 白石 光（深川三中）
 女子シングルス 優勝 佐藤 南帆（深川三中）
 男子ダブルス 優勝 白石 光・福島琉汰
 ペア（深川三中）

関東大会

関東中学生テニス（硬式）選手権大会

男子シングルス3位 清水 健二郎（有明中）
 （全国大会出場）

関東中学校陸上競技大会

2年女子100m3位 鈴木 一葉（深川三中）
 （全国大会出場）

関東中学校柔道大会

男子81kg級3位 稲邊 高斗（深川三中）

江東区連合水泳競技会（辰巳国際水泳場）

男子優勝 深川三中 女子優勝 深川三中

江東区連合陸上競技大会（夢の島競技場）

男子優勝 深川三中 女子優勝 第三亀戸中



高松宮賜杯第59回 全日本軟式野球大会2部優勝

株式会社ヤマカミ野球部監督 山上 茂久

10月16日～19日の4日間、香川県にて開催されました高松宮賜杯第59回全日本軟式野球大会においてヤマカミ野球部が優勝しました。

本年は株式会社ヤマカミの創業100周年と江東区軟式野球連盟70周年という記念すべき年に全国制覇できたことは非常に感慨深いものがあります。

東京都代表としての期待と重圧もありましたが、礼儀と規律を重視したチームプレーで一戦一戦大切に戦い、幸運にも全国制覇をすることができました。

今後、より一層努力精進してチーム力を高めていきたいと思っています。

1回戦 5対0 Victors（山口県）
 2回戦 7対0 金沢ロータスムーン（石川県）
 準々決勝 11対2 株式会社上雅装工（沖縄県）
 準決勝 5対0 富山 GOLD LIONS（富山県）
 決勝 12対1 新日本電工（徳島県）



編集後記

ラグビー2015W杯イングランド大会で日本チームが優勝候補の南アフリカを破ったことが大きな話題となりました。歴史的な勝利を挙げた日本チーム。その中で脚光を浴びたのが「五郎丸歩選手」。彼の独特な忍者ポーズが彼の「ルーティン」（行動の習慣化）と言われるもので、彼の強さの秘訣です。キックの精度を高めるため「ルーティン」で集中力を高め結果を出した五郎丸選手をはじめ、日本チームのますますの活躍を祈ります。

普及指導委員会 大塚 恭一